

# 「口蹄疫対策(迅速・的確な家畜防疫及び畜産物流通体制の整備)」(H22.10～)

【幹事】 大分県 農林水産部 畜産振興課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

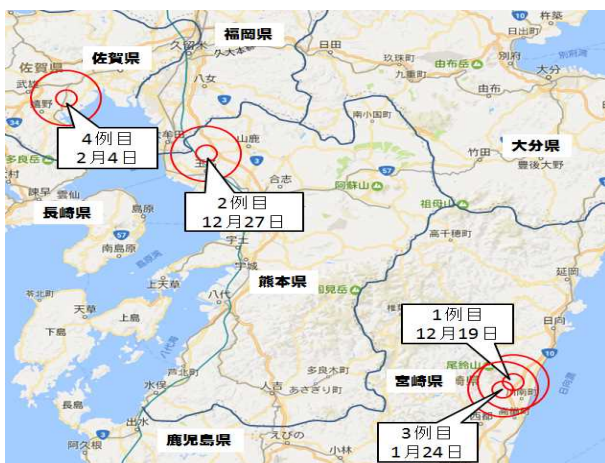
## 目的

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなど、伝播力の著しく強い家畜伝染病の発生に対し、県境を越えた迅速・的確な防疫対策の確立を図る。

## 取組内容・成果

- H22年12月 九州ブロック家畜衛生主任者会議において、防疫対策の具体的なルールを策定。
  - ①情報の綿密な共有化
  - ②消毒ポイントの機能的な設置・運営
  - ③発生を想定した家畜防疫員、防疫作業員の協力体制の確立
  - ④畜産流通体制の整備
- H23年1～3月 宮崎県、鹿児島県、大分県で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認され、確定診断前の情報共有や効率的な消毒ポイントの設置など、迅速・的確な防疫体制を構築。
- 九州ブロック家畜衛生主任者会議や九州地方畜産課長会議において、ルールの再周知及び迅速・的確な防疫対策を再徹底。
- H24年9月にルールを明文化し、「九州・沖縄・山口9県における家畜防疫対策連携に関する申し合わせ」を締結。
- H25年10月以降全国的に流行し、九州、沖縄にも大きな被害をもたらしている流行性下痢(PED)の発生に対し、緊密な情報共有や農家経営の安定化について国に対応を要請。
- H26年4月 熊本県で高病原性鳥インフルエンザの発生。
- H26年4月14日 豚流行性下痢の発生に際し、国へ対策の充実を提言。
- H26年12月からH27年1月 宮崎県・山口県・佐賀県で高病原性鳥インフルエンザ発生。
- H28年12月からH29年2月 宮崎県・熊本県・佐賀県で高病原性鳥インフルエンザ発生。  
H24年2月に締結した申し合わせにより、確定診断前の情報提供や隣県と連携した消毒ポイントの設置など迅速・的確な防疫体制を構築し、まん延防止を実施。
- H30年1月～2月 香川県での高病原性鳥インフルエンザ発生を受け、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県が、養鶏農場に対する緊急消毒を実施。

### H28シーズン九州で高病原性鳥インフルエンザ発生



### H30.1～2月 消石灰による緊急消毒



## 今後の課題・取組

- ・ 隣県との県境防疫会議や合同防疫演習を通して、申し合わせ事項の検証を行う。
- ・ 九州ブロック家畜衛生主任者会議や県境防疫会議を通じて、防疫連携体制の確認、ルール運用の再周知を図るとともに、国の特定家畜伝染病防疫指針の再検討・変更に伴って、必要に応じてルールを変更する。